

平成11年5月6日

各位

株式会社 大京
広報室長 大越 武

GW期間中（7日間）の販売は好調に推移！！

◆期間中の契約金額 120億円、前年同期比2倍

◆モデルルーム来訪者 6,500組、前年同期比1.3倍

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：長谷川正治）では、ゴールデンウィーク期間中（4月29日～5月5日：7日間）のマンション販売状況をまとめましたので、お知らせ致します。

当期間中に全国でオープンしていましたモデルルーム（棟内モデルルーム中心）への来訪者は約6,500組で、昨年の同期間中の約500組に比べ約1.3倍となりました。

この結果、同期間中（7日間）のマンション契約金額（予約含む）は100億円を突破し、約120億円となり、昨年の同期間中の約60億円に比べ約2倍となりました。

<モデルルームへの来訪者が前年同期に比べ伸びた要因>

基本的には、昨年と比べ、今回は、政府の住宅テコ入れ政策による後押しがあることが最大の要因です。

主な要因は、

- ①ゴールデンウィーク中は、おおむね天候に恵まれたこと、
- ②住宅金融公庫の公庫基準金利がまだ2.4%と依然、低金利政策が維持されていること、
- ③住宅ローン減税の恩典を受けられること、
- ④供給物件も昨年と違い、今年は一次取得者向けの新規物件が多く供給されたこと、などによるものと考えております。

	平成11年 (4/29～5/5)	平成10年 (4/29～5/5)	前年同期比
契約金額	約120億円	約60億円	約2倍
モデルルーム 来訪者数	約6,500名	約500名	約1.3倍

以上